

立村70周年の年をともに歩もう 一人ひとりのワクワクを大切に

第39回

杉岡 誠 村長の

愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



新しい年を迎えて、早1か月が経過しました。新春8日の「CRSSスポーツ工業杯 in いいたて」は「スポーツを通じて飯館村を盛り上げていきたい」との社の想いがこもったバレーボール大会でした。ハシドラッグ飯館店のお弁当に加えて、宮内行政区の女性陣により振る舞われたお手製の豚汁200人前を完食した小学生選手達が、ひとチームずつ調理室を訪れて「ありがとうございました。美味しかったです」と、元氣よく感謝の言葉を伝えていた姿がとても印象に残りました。すでに令和8年度の構想もお聞かせいただいていますので、皆様ぜひお楽しみに。

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券」はもうご購入されましたか？

村民の皆様全員が対象です。また住民票がなくても村内事業所でお勤めの方、ふるさと住民票をお持ちの方も対象です。1月31日より村商工会にてプレミアム率60%の商品券を販売しておりますので、今月号の特集をご覧ください、ぜひ生活にお役立てください。

今年も前田行政区の「だんごさし」が、役場玄関をにぎやかにしてくださっています。その鮮やかさを愛でつつも、季節を大切にできた先人の知恵と昔ながらの風習の尊さに心を寄せます。いいたてホームでも、職員の方々が年間を通じて季節を感じる飾り付けを心がけておられます。ときに斬新、ときに芸術的でもあり、洗練された仕上がりにも何時も驚かされます。厳寒の飯館村ですが、村内のあちこちに飾られた心のこもったセンス溢れるお飾りや美しいお花をぜひ探してみてください。

今年も飯館村「立村70周年」の節目であり、4月からは「第7次総合振興計画」がスタートいたします。その将来像

「美(うる)わしく 清らかな村 いいたて」

は村の原風景であり、我々村民が目指すべきふるさと像でもあります。村民歌に歌われている言葉「二つを胸に、今こそ手と手をつなぎ、ともに励みながら、皆様の財産たる村を興し、村を富ませていきましょう。そのためにも、お一人お一人がワクワクしたり、楽しんだりすることを見つめながら、かけがえのない時間を大切にお過ごしいただければ幸いです。

村ならではのダイナミックな自然や四季の移ろいを味わいながら、楽しく歩んでまいりましょう。

■ひとのうごき

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
井 上 家 治 さん	93	深 谷
高 野 光 雄 さん	88	八木沢・芦原
佐 藤 勝 衛 さん	81	前 田
末 永 ケ サ さん	95	深 谷
須 和 正 則 さん	66	関 沢
高 橋 洋 子 さん	49	長 泥
志 賀 哲 男 さん	76	蕨 平
佐 藤 シヅエ さん	94	宮 内
佐 野 文 子 さん	69	上飯樋
小 林 マサ子 さん	93	関 沢

ご冥福をお祈り申し上げます



ひとのうごき 令和8年1月1日現在

人 口	今月 (前月比)	12月1日～31日までの人口動態
●男	2,214人(－6)	転入 7人
●女	2,130人(－6)	転出 9人
計	4,344人(－12)	出生 0人
世帯数	1,790戸(+5)	死亡 10人
		(住民基本台帳人口)



(12月16日から1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

住まいのこれからについて一緒に考えましょう！

空き家サポーター



大井美千子さん
(草 野)



空き家サポーターMessage 住み継ぐ村の宝

大切な住まい。安心・安全なマッチングに努めます

いいたて空き家サポーターの大井美千子です。思い出の詰まった大切な住まいを、誰かに譲ったり貸したりしようかと考えた時、どんな人が使うのかは最も大きな心配ですね。

3ど°は、内見希望者へ、利用目的やどんな暮らしがしたいのかなどの事前ヒアリングを大切にして、気持ちよいマッチングができるように努めているそうです。村内の物件情報は、「WEBメディア3ど°」でも見られます。気になる方はのぞいてみてください。

空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は
いいたての暮らしをつなぐステーション3ど°
(いいたて移住サポートセンター)

伊丹沢字伊丹沢578番地 1
☎0244-68-2850

「WEBメディア3ど°」
の物件情報ページは
こちらから▶



皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



「アルバムを見ていたら昔の家族写真が出てきて、ふと懐かしく若い頃の自分を思い出してしまいました。一所懸命だっただろうか？そこから、二十歳を迎えた皆さんへメッセージを伝えたくくなりました」。渡邊さんから送っていただいたのは、その家族写真と、現在の趣味であり地域の子供達や村を訪れる人などに教えている木工細工の写真です。「自分は昔から文章を書くのが好きでした。それは今も変わりませんが、写真の木工細工や、ゴルフ、日曜大工など、思えば今の年齢になってもいろいろなことに興味を持って取り組み、楽しい毎日を送れていると感じます。二十歳の皆さんをはじめ、今の若い人達も自分と同じように、たくさんこのことに興味を持って、いろいろなことにチャレンジしてくれるとうれしいですね。自由でいいから、何事にも一所懸命に生きてほしいな」。好きなことに挑戦し続ける渡邊さんから、優しい笑顔と共にメッセージをいただきました。



3月号
2/16締切
例えば…「節分」「バレンタイン」「ウグイス」「猫」をテーマに。

4月号
3/16締切
例えば…「ひな祭り」「卒業式」「桜」「チューリップ」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613